

事業名：行政評価外部評価事業

政策推進課 主査（政策推進）

政策	07 計画実現に向けて								
施策	01 効率的な行財政運営の推進								
基本事業	04 計画行政の推進								
開始年度	平成22年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市民、市職員	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市民公募を含む外部委員で組織する委員会が、市で行っている行政評価結果等について評価を行い、その結果を公表する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市政策への市民参加が促進される。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市民数	人	121,705	121,385	120,802	120,802
対象指標2	市職員数	人	1,115	1,133	1,143	1,143
活動指標1	外部評価委員会開催回数	回	8	8	0	5
活動指標2						
成果指標1	外部評価に参加した市民数	人	26	27	0	25
成果指標2	外部評価に参加した職員数	人	35	38	0	31
事業費(A)		千円	282	271	0	292
正職員人件費(B)		千円	11,236	6,012	781	4,694
総事業費(A+B)		千円	11,518	6,283	781	4,986

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	第6次総合計画における外部評価制度のあり方検討	人件費のみ

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
平成22年度より、行政評価の透明性・公平性をより向上させるため、施策の外部評価を実施。	
事業を取り巻く環境変化	
平成22年度～平成24年度の3ヵ年で、第5次総合計画の31施策全ての外部評価が終了したため、平成25年度からは、平成26年度を始期とする第6次総合計画における外部評価制度の検討を開始した。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
総合計画を適正に進行管理し目標を達成するために、市民や有識者などで構成される外部委員会による客観的な判断・評価は必要である。また、江別市自治基本条例第15条第2項において、外部評価の仕組みを整備するよう努めなければならないと規定されている。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
各施策・基本事業の内部評価の適正化と成果向上をはかるために必要な事業であり、上位への貢献度は大きい。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
平成24年度で第5次総合計画の31施策全ての外部評価が終了したことから、平成25年度は外部評価委員会を開催していないため、外部評価への参加者は0となっているが、過去3年間の外部評価委員会からの指摘事項を踏まえて行政評価を行なっていることから、評価の適正化は図られていると考えている。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
第6次総合計画における新たな外部評価手法を検討しており、外部評価の対象や参加する市民が増える可能性がある。	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
委員会の開催に係る最低限の経費のみであるため、予算の削減は市民参加機会の減少に直結する。	